

事業提案

事業者：合同会社田野大根（所在地：宮崎市田野町）
 資本金：300万 業種：食品製造業 従業員数：3名

事業名：システム開発による販売業務のDX化事業

クラウド



納品書（手書き）、請求書発行（ソフト）、売上集計（エクセル手入力）でのバラバラの運用をDX化。ワンストップ管理による生産性向上と、過去データから需要予測を行うための販売管理システムの開発

【概要】

注文情報～納品書・請求書発行、売上集計までを一元管理する自社専用のクラウド型販売管理システムを開発し、生産性向上を図るとともに、過去の受注データをもとに、需要予測を行い、仕入れの最適化を図る

【主な取組】

- 販売管理システムの開発（納品書・請求書発行、売上集計・分析機能）

【事業の目標】

（定性目標）

- 過去のデータ分析に基づく需要予測で、仕入れ量の最適化を図る
- 販売管理を1つのシステムで完結させ、労働生産性を向上させる
- 属人化の解消とリモートワークができる環境の構築

（定量目標）

- （情報セキュリティ対策（SECURITY ACTION宣言）について）

2025年1月 SECURITY ACTION 一つ星宣言予定

- （労働生産性について）

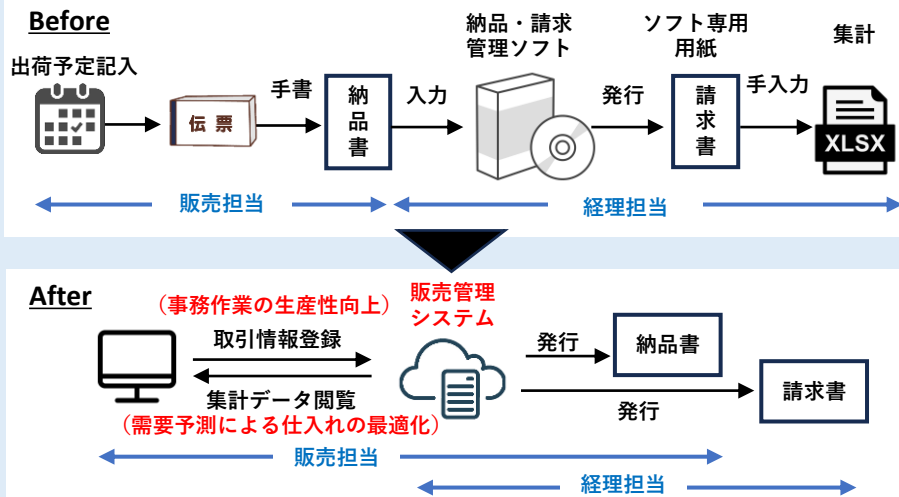
システム化で1年目は対前年比210%、2年目は同106%、3年目は同103%を見込む

【取組を行う背景】

- 漬物原料は青果のため、仕入れ時期が限られ、現在は販売量の予測の精度が低く、在庫過多や売り逃しが多々発生している。
- 受注から請求、売上集計までアナログでの運用のためミスが多く、労働生産性の低下を招いている。
- 請求書発行ソフトが1台のPCに限定されているため、属人化が発生している

【本事業終了後の展開・展望（今後3ヶ年程度の後年度負担等）】

- 需要予測の精度向上による仕入れ量の最適化
- 在庫登録機能、仕入れ情報登録機能の追加による在庫管理、粗利管理の実現
- 属人化の解消とリモートワーク環境の整備



【効果（成果）】

- 年間120時間の業務時間削減が見込める
- 業務の属人化の解消とリモートワーク環境整備の下準備ができた
- 過去の販売データ登録により、受注予測の精度UPが期待できる

【今後の課題】

- 在庫管理、仕入れ管理のシステム化
- 契約農家の栽培状況、納品予定の見える化
- 資金繰り状況の見える化